DIARIO N. 2.187 S. Paulo, 23 de Maio de 1940 NOTICIAS DO BRASIL Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa, H

伯剌西爾時報
發行所 伯剌西爾時報社
電話 七・四六〇七
社長 黒石尚作 Director M Sameshima
購讀料 一ケ年 十六圓 半ケ年 十三圓
廣告は御照會次第御返信
珈琲 サントス四級 十ヤロ 一ヶ二〇〇〇 ノミナル 十ヤロ 一ヶ七〇〇
替爲 對日 四、六六〇 對獨逸 五、五〇〇 對米 一、七九〇 對英 六五三一〇

フランス危し！

Se me dissesem que só um milagre pode salvar a França.

レイノ首相ラヂオで悲痛な演説

【巴里廿二日同盟】佛國上院は、昨日レイノー首相ペタン副總理以下全閣僚出席の下に午後三時十五分ジュレスジョネー氏司會の下に開會された、レイノー首相起つて先づ「佛國は危機に瀕して居る！」と冒頭して注目を惹き、佛國領土に迫つた危機を我等は除去し防禦しなければならぬとて、最近の各地戰線に於ける佛軍の戰績を報告し、佛軍は最後まで英軍と協力聯合して、必ず敵を撃滅させなければならぬ、

佛國を救ふものは神である、佛國には神の御守護があることを堅く信じて居る

と悲痛な面持で語つた

【巴里廿一日同盟】廿一日上院に於けるレイノー首相の戰局報告演説要旨左の通り

母國は今や危險に直面してゐる、此の秋に當り、フランス國民に眞實を報告する事は余の義務である。我國土を防衛すべき要塞線は今やバーゼルからリユクサンブール國境を經てロングーウエーに至るマヂノ本線とセダンから英佛海峽に達する要塞線に二分された

敵はこれを突破し、セダン、ナミユール間ミューズ河沿岸に造られた蝶番のフランス防備陣に猛攻を加へ來つたのである

ミユーズ河はその渡河に困難な所から、敵に對する重大なる障碍たるべしと考へられてた事が悪かつたのである、我軍は後少しの遲延で計畫通りの蝶番陣形を完成し得るにも拘らず、ミユーズ河沿岸まで到達し得なかつたと云ふ感慨で、更に、ミユーズ河の橋梁破壞が行はれなかつたと云ふ信ずべからざる失敗が行はれ、敵機械化部隊が此の橋梁を渡つて突撃、敵戰鬪機、又訓練裝備共に劣れる我軍團を四散せしめると云ふ**事態を招來したのである、諸君は現在佛軍の一部隊が斯の如く全く潰滅とも云ふ可き慘狀を呈した事を認識せねばならぬ、**

獨軍の軍略的要點はかくして破れ去つたので、獨軍の突破口は我軍の前線附近**幅百キロに亘つてをり、機械化兵團に次ぐ裝甲車兵團がポケット陣形を突つ切り**來て西方英佛海峽に進撃し、フランス、ベルギー國境の我防禦線の後方を斷ち、ベルギー戰線で交戰中の聯合軍を脅かさんとしつゝあつた

下つたのは漸く五月廿日夜の事である

一昨日迄に獨軍はケズネー、レースカンブレー及びソム河の線に到達したが、その後四十八時間更に進撃を續け、今朝八時に佛軍司令部よりの報告に依れば アラス、アミアンの兩市が遂に占領されたとの事である、斯る戰勢に陷つたのは我軍の主力に對する重大なる障碍たるべしと考へられてた事が悪かつたのである、我軍は後少しの遲延で計畫通りの蝶番陣形を完成し得るにも拘らず、ミユーズ河の橋梁破壞が行はれなかつたと云ふ信ずべからざる失敗が行はれ、敵機械化部隊が此の橋梁を渡つて突撃、敵戰鬪機、又訓練裝備共に劣れる我軍團を四散せしめると云ふ**事態を招來したのである、諸君は現在佛軍の一部隊が斯の如く全く潰滅とも云ふ可き慘狀を呈した事を認識せねばならぬ、**

吾々の戰爭方法に關する傳統的概念に衝突したのである、この新概念を基礎としては、機械化師團と軍用機の大量使用があるのみならず、後方原料源と戰線後方を攪亂する爲に落下傘部隊の活躍、やオランダに於ては、首都ハーグを殆んど獨力で占領せんとし、又リエージュの最強力な堅壘を占領した、我々の第一に爲すべき努力は精神の平衡を保つ事である、吾々はまづ吾々の直面する戰爭、即ち新しい戰爭に就て熟慮し、而して斷行せねばならぬ、我々は先づ敗北したのち最後に勝利を獲得したのである、祖國は今や重大なる危機に直面してゐる

今からでも決して遲くないことを知らねばならない

英佛機、獨軍を猛爆

【巴里廿一日同盟】佛軍司令部廿一日發表、

一、廿一日拂曉までの夜間各地で戰鬪が行はれたがソム河戰線及びカンブレ地區には大した變化は無かつた

一、主としてエーヌ河畔ルテル地區を絞め網線各地において殲滅し夜中猛爆を繼續した

一、我空軍は獨軍後背部隊に對し夜中猛爆を繼續した

【倫敦廿一日同盟】英空軍省發表、英空軍は昨廿日獨軍連絡路に猛爆を加へ多大の戰果を收めた 又同夜英爆撃機はロッテルダムを空襲ガソリンタンクに火災を起さしめた

高射砲の彈丸當らぬ時 五八〇 獨の大速爆撃機

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

ナミユール要塞完全占領さる

【伯林廿一日同盟】ドイツ參謀本部は左の通信戰況を通じた

ベルギー南部のナミユール要塞の最後の堅壘を陷れ、これに同要塞を完全に占領したと發表した

英皇弟負傷さる

【倫敦廿一日同盟】英皇弟グロスター公は廿日前線よりロンドンに歸還されたが、公はフランス戰線において輕度の負傷を負はせられたことが廿一日判明した 即ちグロスター公は廿日前線において獨空軍の爆撃により自動車で避難を開始し、パリの各停車場は避難民の群でゴッタ返してゐる

ゴツタ返す巴里

市民續々避難始む

【巴里廿一日同盟】戰局が刻々に聯合國側に不利となるにつれ巴里市内も漸く動搖の色を見せてゐたが、廿一日獨軍がフランス西北部のアミアンアラス及びアブビルの各要衝を陷れたとの戰況發表が行はれるや巴里市民は遽に殺氣

【倫敦廿一日同盟】英空軍省發表、英空軍は廿日夜間佛國北部カライス及びブランエベルグ市の各飛行場を爆撃、獨逸攻撃機が來襲し來り折からの皎々たる月光に銀翼を輝かし双方數百機入り亂れて大空中戰を展開、獨逸の三百三機撃墜された

【巴里廿二日同盟】佛軍司令部公報、本日聯合軍はアラス市を奪還した

【倫敦廿二日同盟】英空軍省の公報によれば英空軍の大編隊は昨夜大擧して獨逸軍に占領された佛國西北部のカンブラサンケンチ及びヒルソンの各都市の逆襲に向つた處、獨逸攻撃機が來襲し來り折からの皎々たる月光に銀翼を輝かし双方數百機入り亂れて大空中戰を展開、獨逸の三百三機撃墜された

【巴里廿二日同盟】佛軍司令部廿二日發表、

一、廿一日夜間獨逸空軍は佛國北部のアラス市を奪還した

二、不正不當なる利益を目的とせし不道德をなすもの

三、公務員にして職責權限を利用し非道の行爲をなすもの

四、其他公安秩序を紊り、聖戰完遂上有害なる行爲をなすもの

物凄く英佛の反撃

獨機三百三を撃墜

佛軍アラース市奪還

【倫敦廿二日同盟】英航空省發表、英空軍は廿一日夜間獨逸軍の占領せるアラス市を奪還した

【巴里廿二日同盟】佛軍司令部廿二日發表、

一、廿一日夜間獨逸空軍は佛國北部のアラス市を奪還した

二、不正不當なる利益を目的とせし不道德をなすもの

三、公務員にして職責權限を利用し非道の行爲をなすもの

四、其他公安秩序を紊り、聖戰完遂上有害なる行爲をなすもの

【倫敦廿二日同盟】英航空省發表、英空軍は廿一日夜間獨逸軍の占領せるアラス市を奪還した

【巴里廿二日同盟】佛軍司令部廿二日發表、

一、廿一日夜間獨逸空軍は佛國北部のアラス市を奪還した

二、不正不當なる利益を目的とせし不道德をなすもの

三、公務員にして職責權限を利用し非道の行爲をなすもの

四、其他公安秩序を紊り、聖戰完遂上有害なる行爲をなすもの

【倫敦廿二日同盟】英航空省發表、英空軍は廿一日夜間獨逸軍の占領せるアラス市を奪還した

【巴里廿二日同盟】佛軍司令部廿二日發表、

一、廿一日夜間獨逸空軍は佛國北部のアラス市を奪還した

二、不正不當なる利益を目的とせし不道德をなすもの

三、公務員にして職責權限を利用し非道の行爲をなすもの

四、其他公安秩序を紊り、聖戰完遂上有害なる行爲をなすもの

伊のホテル學校軍用に徴發

【羅馬廿一日同盟】イタリア政府は五月廿一日をファシスト革命戰役將士記念日とし午前十時から午後八時半まで全ファシスト黨員は制服を着け全市は國旗で飾られ更にイタリア政府は六月一日から市内ホテルの約半分を公用に徴發し、一般旅客の宿泊を禁止することになつたと謂はれるが、措置は六月一日から休校する學校閉鎖と共に軍用又は銃後特別の使用に充てられるものゝ模様で、イタリア政府はブラッセル市よりオステンド市に移轉後所在不明となり捜査中のところ、リスクレス町にあることが發見された

時艱克服日滿の經濟提携へ

日滿實業協會總會決議

【東京廿一日同盟】日滿實業協會では二十一日午前國際會館に於て定時總會を開催、ホテルに於て定時總會を開催、安達（張本政、大連）「鐵修（新京）藤山正副會長以下、民間經濟團體代表來賓として、滿洲國民政府大臣他、日滿關係官等總員五百余名出席、左の議案を可決し、其處理方法は何れも明二十二日より開かれる日滿經濟會議滿洲國側に於る決定を待つて、態度を決する事となつた

一、大陸に於る陸海空軍施設の整備

一、安奉線經由大陸交通の海陸空輸送擴充方望

一、日滿支間交通通信の飛躍的擴充整備に關する件

一、滿洲國に對する生産資材供給增加方要望

一、中小工業點滴株植に關する具體的方策を樹立すべき協議會設置に關する件

新支那に惡德橫行

不良邦人に鐵槌の下る

北支軍當局斷乎態度表明

【北京廿二日同盟】最近華北に在留する邦人の激增に伴ひ東亞新秩序建設を妨害する不良邦人も增加するに到つたので、北支軍は斷乎として此の種惡德者に膺懲の鐵槌を下す事になり、廿一日午後三時半左の如く北支軍當局發表を發表した

北支軍は明朗
北支建設の爲
左記事項に該當するものに
對して軍事占領地域内に在留せしむるを適當ならずと認めるときは、これを右地域外に退去せしむることゝした次第である

一、治安の攪亂行爲をなすもの

二、不正不當なる利益を目的とせし不道德をなすもの

三、公務員にして職責權限を利用し非道の行爲をなすもの

四、其他公安秩序を紊り、聖戰完遂上有害なる行爲をなすもの

樺太炭の增産

南部封鎖炭出の一部開放

【東京廿二日同盟】拓務省では樺太に於る既存炭田の機極的增産を圖る一方 從來封鎖されてゐた炭田の一部を開放 速急に之が開發を圖る事となり去る十六日附拓務省令を以て樺太鑛業令施行規則の一部を改正 南部封鎖炭田區域の一部を解除し、右地域に樺太炭礦業會を設定 その探掘を東拓に請負はせた

【伯林廿二日同盟】獨逸海軍本部公表によれば、本日獨逸の潜水艦は佛國大西洋岸ビスケー灣に於て佛國其他二隻を撃沈した

獨機英運送船を撃沈

獨機英運送船を撃沈

【倫敦廿二日同盟】英國海軍省發表、

一、廿一日夜間獨逸空軍は佛國北部沿岸地帶に獨逸の大軍が侵入せるため、ドーバー配備の戰鬪機は佛國領空に於て獨逸の爆撃機を撃墜したが、我方の損害は戰鬪機二機のみであつた

二、獨逸空軍は英國東部沿岸の數箇所を爆撃したが、我方の損害は僅少であつた

三、獨逸空軍は英國南部沿岸の數箇所を爆撃したが、我方の損害は僅少であつた

四、獨逸空軍は英國南部沿岸の數箇所を爆撃したが、我方の損害は僅少であつた

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

佛政府ツール に移轉

【倫敦廿一日同盟】廿一日ゼネバに達した情報によれば、フランス政府は中部フランス、ツールに首府機關を移轉することゝなり、既にこれが準備に着手した

紐育市場大混亂

獨軍オランダ侵入から 今日までの損害百万弗

【紐育廿一日同盟】北部フランス、ベルギーにおけるドイツ優勢の明かになつた廿一日の紐育取引所は未曾有の混亂に陷り、各取引部門共大暴落を演じた、これに對し當局も何等手を下さず現在まで放任の態度を採つてゐる

ドイツ軍のオランダ侵入後今日迄に株式激動による損害實に百万弗以上に上るものと算

英の敷設艦觸雷沈没

乘組將官二名生死不明

【ロンドン廿二日同盟】英海軍將校團よりの發表によれば英國機雷敷設艦プリンセ・ヴイトリヤ號は敵の機雷に觸れ爆沈し、乘組將官二名、乘組水夫三十二名の生死不明なり

東京爲替

【東京廿二日同盟】廿三ドル十五、五ペンス八の一三十二の七 ノミナル

國民政府答禮使節團の動靜

【東京廿二日同盟】米内首相は廿一日午後七時、首相官邸に訪日答禮使節團陳公博氏等廿二名を招待、主人側より米内首相以下各閣僚各參議、近衛貴族院正副議長、貴衆兩院正副議長、他各關係官出席晩餐會を開いたが、首相より歡迎の挨拶あり、次で使節團より謝辭あり、同九時和氣々裡に散會した

【東京廿二日同盟】入京第一夜を明した國民政府答禮使節團陳公博、緒民謙氏以下一行五名は廿二日午前九時半宿舍帝國ホテルを出で官内省を訪問し夜中猛爆を繼續した

【倫敦廿一日同盟】英空軍省發表、英空軍は昨廿日獨軍連絡路に猛爆を加へ多大の戰果を收めた 又同夜英爆撃機はロッテルダムを空襲ガソリンタンクに火災を起さしめた

避難民攻撃の獨機 人道上默過出來ぬ

米大統領聲明

【華府廿二日同盟】ルーズベルト大統領は本日海軍省より獨逸潜水艦が避難民に對し夜中猛爆を繼續したる報道に依れば獨逸空軍は最近西部戰線に時速九百八十キロの快速新鋭爆撃機を出動させ、聯合軍側に新たな脅威を與へてゐる、この新鋭爆撃機は地上目的物に向ひ五千フイートの高空から秒速五百フイートの速力で急降下し、地上數百フイートで爆彈を投下再び上昇は最近發明された高射砲の射程外に逃れ去ると謂はれ、極めて低空まで急降下する事と、その下及び上昇は高射砲部隊に標準を定める時間を

伊の學

時艱克服日滿の經濟提携へ

日滿實業協會總會決議

【東京廿一日同盟】日滿實業協會總會は支那各地並に蘇洲國國軍に對する慰問文と共に左の境警備にある皇軍及び、蘇洲國時局對處策を決議した

國民政府答禮使節團の動靜

【東京廿二日同盟】米内首相は廿一日午後七時、首相官邸に訪日答禮使節團陳公博氏等廿二名を招待、主人側より米内首相以下各閣僚各參議、近衛貴族院正副議長、貴衆兩院正副議長、他各關係官出席晩餐會を開いたが、首相より歡迎の挨拶あり、次で使節團より謝辭あり、同九時和氣々裡に散會した

【東京廿二日同盟】入京第一夜を明した國民政府答禮使節團陳公博、緒民謙氏以下一行五名は廿二日午前九時半宿舍帝國ホテルを出で官内省を訪問

避難民攻撃の獨機 人道上默過出來ぬ

米大統領聲明

【華府廿二日同盟】ルーズベルト大統領は本日海軍省より獨逸潜水艦が避難民に對し夜中猛爆を繼續したる報道に依れば獨逸空軍は最近西部戰線に時速九百八十キロの快速新鋭爆撃機を出動させ、聯合軍側に新たな脅威を與へてゐる、この新鋭爆撃機は地上目的物に向ひ五千フイートの高空から秒速五百フイートの速力で急降下し、地上數百フイートで爆彈を投下再び上昇は最近發明された高射砲の射程外に逃れ去ると謂はれ、極めて低空まで急降下する事と、その下及び上昇は高射砲部隊に標準を定める時間を

伊の學

時艱克服日滿の經濟提携へ

日滿實業協會總會決議

【東京廿一日同盟】日滿實業協會總會は支那各地並に蘇洲國國軍に對する慰問文と共に左の境警備にある皇軍及び、蘇洲國時局對處策を決議した

「あばれ大名」

（百五）

（船坂峠）一ノ一

そして——トロ〳〵とまどろんで朝

お由良は、ゆうべの騒ぎに宿を飛び出したまゝ、帰つて來なかつた。どこへ行つたのか？ 女ひとりで——

いよ〳〵頭が重い

ボンヤリと有年の宿場を出た隼人が三ッ石の支度茶屋の前を通りかゝつた時

茶店の中から呼びかけたのは、佐分利一學であつた

「東條。イヤな顔をするな。ぜんたい どうしたといふんだ？」

佐分利一學。呼びかけた東條隼人がギョッとして顔色を變へたので、氣を悪くしてゐる

お由良と隼人の中に釀された昨夜の一件を、まさかに、知らない一學だ。こちらは、思ひがけず見付けた隼人——に、たゞ單純に、喜びを感じてゐるわけ。時が時だから、猫の手も借りたい折柄である

「う、ウム」

けだが、揃者側へ立つていることをした。何事なく表を見なかつたら、東條をやり過ごしてしまふところだつた」

「ほう、東條が？ それアいゝ」

一學はじめ一同が、自分たちに都合よく、先ぐり考へをしてくれたのは、隼人にとつて僥倖だつたが、しかし、何ども恍こそばゆい感じは、まぬがれない

隼人は、脇の下へ冷たい汗を流してゐる

（仕方がない。見つかつた以上——）

と思ふ

いづれは、この氣のいゝ男たちとも、別れ別れにならねばならぬだらうが まづ、お由良の一件、バレるまでは一緒にゐてやれ、といふ氣になつた。で、隼人。傷が癒えたものだから、急速西下して來たのだと、一學たちの考へをそのまゝ頂いて酒盛の仲間入りをした

そのころには 椿事を知つて大騒ぎをやつてゐる。それと氣付くと この上、騒ぎ立てることも出來ないから、無念を噛んで隼人は部屋へ戻つて、おびえてゐる女中に床をとらせ、すぐ横になつた

が、眠れない。心が落付いて、理性を取戻すと、大變なことをやつたものだと、後悔することに忙しい

このことが 頭領の德兵衛の耳にはいつたら、無事には濟むまい。いや、かうなつた上からは、もう德兵衛の許へは歸れまい——

「ちイッ」

隼人は頭から蒲團をかぶつた

お互いが 往來に立つてゐるのだと氣が付いて

「とにかく、こちらへ來い。話はあとだ。橋溝半馬がゐる松山家の、赤城、大場の連中も一緒なんだ。——來い、東條」

「うむ」

一學は、隼人の先に立つて支度茶屋の奥へはいつた

もよつとした座敷に、橋溝半馬が、赤城行藏、大場典兒とともに、盃を取りやつてゐる

そこへ、顔を入れた一學は「珍らしい男がやつて來た。東條隼人だ。われ〳〵の後をしたつて助勢に馳せ參じたわ

これ見たか！わが巨彈の雨

敵首都重慶の夢破る

海鷲奮ひ立つ！

連續三回の猛爆擊行・全機悠々歸還

【〇〇基地二十二日同盟】中支艦隊報道部發表
海軍航空隊は二十一日深更より二十二日未明にかけ不眠不休連續三回に亘り重慶夜間爆擊を決行せり
【〇〇二十二日同盟】中支艦隊報道部發表
海軍航空隊は二十一日深更より二十二日未明にかけ、連續三回に亘り重慶夜間爆擊を決行し第一次瀨戸隊は二十二日午前一時十五分、第二次安達隊は午前二時三十五分何れも重慶西方白市驛を襲ひ、次で第三次金子隊は午前三時二十分廣陽壩を襲擊、敵の猛烈なる高射重砲擊を冒し、敵戰闘機と交戰しつゝ、各飛行場、重要施設に對し猛爆擊を加へ、敵機一機を擊墜、地上の諸施設に甚大なる損害を與へ全機無事歸還した
【〇〇基地二十二日同盟】中支艦隊報道部發表
二十二日早曉重慶空襲に引續き柴田隊長の率ゐる大編隊は二十二日午前十一時半重慶大空襲を決行、敵の心臟を寒からしめた、即ち益永、中村、鍋田各隊は午前十一時二十五分小谷隊長の率ゐる中村、池田、奥山の各隊は同十一時卅五分相前後して白市驛を襲擊、敵戰闘機の抗戰並びに熾烈なる地上砲火を冒して飛行場を爆擊、地上にて神崎、横山、大澤の各部隊は同日夕刻には、はん城市外東北端の丘陵を占領、はん城及び黔岸の襄陽を眼下に制壓し更に一部隊は、はん城西北方十五キロの熊家集を奪取、漢水地域の清河を渡河し、はん城に向け進擊した我

【〇〇二十二日同盟】二十二日正午漢水地域の清河を渡河し、はん城東北の丘陵を突破した我軍は後續の砲兵部隊の到着と共に襄陽に對し猛砲火を浴せ、城内の一角より火災を生ぜしめた、火焰は月明の夜空に映えて久しく戰第五戰區の牙城にして最大要衝たる襄陽は陷落、斷末魔の嘶きを 見せてる

【南京發電、江西省の山奥で遊擊隊の手から皇軍に救出された汪精衛氏の令姉汪兆我さん（六九）は下關碼頭着のむらさきで南京に歸つて來た先月廿日拓林の家に別れを告げてから實に廿六日の長旅だつた　纏足で步行自由な老太々は漢口から別そうで來た小林後一中尉（兵庫縣三木町）市政府職員何子慶氏などに助けられて下陸、午後一時桃花綻き亂れる汪公館に入つた公館には陳壁君夫人が待つてゐた汪氏の御曹子汪文悌君（二八）がつい十日ばかり前に買つたばかりの新妻譚文素さんと玄關まで出迎へてくれ　うれしくてたまらない老太々はとう〳〵廊下のソファにかけたまゝ泣き出してしまつた、午後六時過ぎ汪精衛氏が臨東から歸つて來た、汪氏と兆我老太々とは十人もの兄弟姉妹　中で同じ腹の血をわけた、たつた一人の大切な姉であり　弟である、久方振りの對面に

「姉さんようこそ御無事で　精衛よ　新しい政府が出來てお目出度う」

と手を取り合つて嬉し涙にくれた

「精衛、お目でたう」

汪さん姉弟・嬉泣き

兆我さんと劇的對面

事變下の學生氣質

東大の「窄き門」は語る

（東京發）新東亞建設の人的資源要望の渦卷の中に巢立つ今春の各大學、專門學校卒業生の就職陣は既報のごとく娘一人に婿八人といふ近來稀に見る賣手市時代を現出してゐるが、關東軍の新要望制定と歐洲動亂の影響と見られてゐる、こゝも一高か七名の合格者を出して第一位を占め東京　浦和の順で關東が斷然抑へてゐる

〈理學部〉受驗者百八十六名で昨年より廿二名の增加の途をたどり、受驗者數も正比例して增加して來たが、本戰は受驗生七百八十二名で昨年より百五十名減じてゐるのは卒業生制限

ブラジルの同胞よ 足を地につけよ

加藤無任所公使の第一聲

昨朝エスプラナーダ。ホテル一〇三號室に於て記者を接見した長身柴燒の加藤無任所公使は〝サンパウロの日本人は安定してゐますか〟と口を切り、次の如く語つた

〝戰後の荒廢から立ち直らんとして、官民各位から多大の歡迎を受ける事は感謝に堪へないが、どうぞ貴紙を通じて宜しく傳へられたい云々〟

「支那」支那と聲高に呼び捨てる果は亞大陸へ眼の向く事は一應無理からぬ事でなければならぬ然し乍ら一億國民の一人一人が各自の持場持場を嚴重に固めるといふ事が國家として最も肝要な根本觀點であるべき事迄は忘れてもらつてはならぬ其意味からして ブラジル在留同胞諸君に於ても、此の際良く落ち着いて國家の構成分子たる自己の立場を更めて省察し正しく認識して、徒らに未だ見ぬ所に空中樓閣的幻想を描く事なくとにかく愼重な考慮の上に出處進退されたい 數々二世を使つて見た事もあるが、どうも使ひ物にならない樣だ、二世は二世として獨自な立場がある譯ゆゑ、一世の後をばかり追ふといふ態度を捨て、一世の良き點が發揮される其特殊な道を選擇して貰ひたい、そして立派なブラジル國民としてブラジル國の爲に貢獻することが、大和民族の面目に繋がる者の踐むべき道であり、亦以て日本祖國の聲價を中外に發揚し、夫れに依つて父祖の國に報い得る所以となるを十分に心せられ度いがあるがホンの數日の滯在に過ぎなかつた、今日愼しい此の舊邊の地を再び訪れた際には、日本民族として活動の舞台は餘りにも廣濶である事ながらに戰ひの場 働らきの所を支那と限るべきではあるまい、〝我いが明治天皇の御製の訓へ給ふが如く、國に盡す道に二つはないのであるから

盛大だつた 公使連の歡迎晩餐會

加藤さん熱辯を振ふ

加藤 塩崎兩公使以下の一行は一昨夜日本人俱樂部に於ける在留民有志主催の歡迎晩餐會に臨んだが綠谷氏の挨拶に答へ加藤公使立つて開口一番先づ〝歐洲戰に際し對南米貿易の發展から現在までの經過を々述べた後、日本の現狀に及び日本は新體制確立で擧國一致通りある程度働き度は缺乏してゐる事は事實だが、東亞新秩序確立と生産力擴充とを同時に行つてゐるのであるから、これ位の不自由は忍ばねばならない父國民もその覺悟で進んでゐる、歐戰以來パリーは燈火管制で夜

第だが近く開催の中米公使會議の結果と本省へ持ち帰り逐次實行に移したいと思ふ

とて大公使會議の主旨を說明し話題を日支事變に轉じ、事變の發端から現在までの經過を

十五日午後一時半から聖市フロレンシオ・デ・アブレウ街の市村商會の番地が一五九番に變更しました――お間違ひにならぬ樣に……

◇

海興銀行リンス支店披露宴に出場したリンス名物ミドリ會少女達の舞踊に、坂元總台スツカリ感心、これはスパラシイ〝折があつたらサンパウロへ招待致します〟と少女達をよろこばせた

◇

佐藤初江先生指導の、本月〝お料理の會〟は明二十四日午后一時半から伊の會館で開かれます

◇

長さん位の二枚目どこだね」

◇

リンス職合青年團野球大會は去る十一の南日大和北部グラウンドに於て擧行された

リンス代表リンス町チーム

泛ゼツリーナ代表大和チーム

泛ゼツリーナ代表アリアンサチーム出場、リーグ戰を行つたがゼ代表大和チーム優勝

戰績左の通り

ゼツリーナ1―9コヤンベー

コヤンベー8―7リンス

ゼツリーナ13―8リンス

一〇

南部マリリア 陸競大會

第二回南部マリリア陸競大會は去る十三日フオルモーザ・グラウンドに於て擧行 參加五チーム、フオルモーザ軍再度勝、記錄左の如し

千五百米四分一秒六 四百糎走リ・アレグレ 千六百糎走フオルモーザ 碗丸清水九米八九、走巾跳島五米五五、円盤投島一米三三 槍投丸山三九米五八、棒高清水三米

朝日經濟部副主幹 今井氏の動靜

昨日二日午前ブラスコット東棚を訪問、午後はアデマール州執政官を訪問歡談を表し、今日は聖市の公使連と晩餐、明日午後一時から

◇

いつも葉卷を咥へられて居る成瀨さん、とかく人を煙に卷きたがる

昨朝エスプラナ

がに反響著しく、同紙聖市出張所は續ち志願者殺到、門前市をなす中から二人が選拔され昨夕サントス へ下つて航空士養成所の第一回生として入學する事になつた

◇

今日は Corpo de Deus 聖體祭といふ大きな祭日です、之は聖週木曜日にキリストが十二人の弟子と供にした大晩餐の心を記念する日です 聖市では午前九時ベジリカ・ベネヂチナでミサを行ひ後キリスト

日米科學戰

一昨年〝黑い太陽〟即ち皆既日食觀測のため山本一清博士一行がペルーに渡り、米佛の學者を向ふに廻して堂々たる成果を收めたが それから三年ぶりの來る十月一日〝黑い太陽〟は再び南米、南阿の空に姿を現すので、太陽の高度や皆既時間などから考へ南阿よりも遙かにコンディションのよい南米ブラジルが觀測中心と考へられ且つ亦在留邦人の熱烈なる要望もあり、東亞天文協會では山本一清博士を隊長とする觀測の精鋭を

〝黑い太陽〟に挑む!!

日本觀測隊ブラジル遠征

他國參加は米國のみ

いよいよ十月、南米南阿の空を掩ふ〝黑い太陽〟に挑戰して日本東亞天文協會からはるばるブラジル へ觀測隊を繰出し、皆既日食の〝正體〟を摑まんとの壯擧が進められてゐるため万丈の氣を吐かうと言ふ素晴らしい計畫が進められてゐる

大相撲景場所

十四日

（東京廿二日ラヂオ）双葉、羽黑、玉が枕を並べて休場する、星は五十六當の貢こして本場所は東軍散々の体、明日の大關戰で彈丸名寄を仕止めた五ツ島、今日は照國を叩き込んで確實の勢

西軍攻勢持續 五十六點勝越す

名寄、照兩關脇の厄日

安藝、五ツ共に優勝へ驀進

大物喰ひ安藝今日は名寄との關戰、昨年春場所上手投で敗れ、本年春場所小手投げで敗れ、安藝に取つては復讐戰で共に敗られぬ此の一番 立つや安藝業早く右を差し、グイ〳〵と攻め立てれば名寄は右を差し返しての勝負 ◇

安藝 五ツ共に勝ち進み十三勝一敗の好成績、明日は千秋天晴れ ◎

〳〵居り身に寄り、名寄の寄り返しての勝は

かさやくか

◇

東西兩軍が優勝旗獲得目ざして相撲つ勝星一つ〳〵に全く火の出るやうな力闘を繰返したが、今日迄での總計東百三十二點、西百八十八點、その差五十六點と大巾の開きとなつた

戰の跡

笠置山 笠置左差し右で正攻 石 面にグイ〳〵攻め立てれば譽剣ケ嶺で顎が前へるを、笠置差手を捻いてグイと寄れば譽士俵下にころぶ

五ツ島 慎重に仕切つて立照 國 つや劇しく突き合つた後、暗頭を下げて行くを五ツ右に開いて突き喰ければ 照もろくも右手をつく

安藝海 安藝素早く右をさ名寄岩 し名寄は右手を卩いて揉み合ひ、名寄上手投を打つたが裸ゆるんで、安藝グイ〳〵居り身に寄り、名寄寄り返す所を切り返し

男女川 男女左を差すを巴 巴 潟 双手に摑てきめ上げて左四ツ、男女すかさず氣魄に寄り立てれば また男女の差手を極め 巴 潟さんとしたが 男女體をおろしながら右から攻めてより立て遂に寄倒す

中入後勝負

前田山 右四ツ二廻すぐに二瀨川 右足を飛ばして內掛に攻めれば、前田良く耐へるを二瀨さらばと上手投を打つたが決らず、二瀨なほも右足を內掛に行かうとするが、前田巨體をあふつて許さず、都ち西土俵につめ 瀨こらへて打ちやらんとしたがかまはず寄倒して前田の勝

男女川（男女左を差すを巴 巴 潟 双手に摑てきめ上げて左四ツ、男女すかさず氣魄に寄り立てれば また男女の差手を極め 巴 潟さんとしたが 男女體をおろしながら右から攻めてより立て遂に寄倒す

中入後勝負

備州山（掬投げ）	武ノ里	松山	出羽ノ花
清美川（出投げ）	小松山	常陸山	武ノ里
增位山（寄切り）	十三錦	相模川（〃）	若瀧
大濱（〃）	鹿島洋（外掛け）	金澤	駒ノ里（寄倒し）
櫛甲	八幡錦（〃）	松浦潟	桂川（突出し）
神東山	佐渡島（寄倒し）	大邱山	藤ノ里（〃）
鰹ノ里	櫻錦（突出し）	旭川	龍王山（寄切り）
陸錦	松ノ里（〃）	富士嶽	佐賀花（掬投げ）
肥州山	出羽湊（突出し）	青葉山	若瀧（寄切り）
大潮	笠置山（〃）	磐石	綾昇（からみ投）
鎗ケ嶺	五ツ島（押込み）	照國	安藝海（切返し）
名寄岩	前田山（突倒し）	二瀨川（〃）	巴潟

社告

謹啓 各位益々御隆昌之段奉賀候 陳者弊社支計員

サンタクルードリオグランデ アンドラーデ ヒラクス

方 高橋朝太郎

サンタクルードリオグランデ アンドラーデ マンドリー

方 吉川政次郎

アンドラーデ ヒラクス

茂木源太郎

パストス方面 パラグワスー、カラムル方面

木村彦重

右兩名各顧書の方面へ巡回致させ候間何卒御愛顧御引立ての程希上候

敬具

昭和十五年四月十五日

伯剌西爾時報社

棉の相場

サンパウロ 棉花取引所建値

五月廿一日

四級	四二、五〇〇	買値
五級	四三、〇〇〇	賣値
六級	四三、〇〇〇	右 同
	四四、〇〇〇	右 同

エビオス

重要商品市況

五月二十二日

	買値	賣値
○バタタ	六〇キロ	
アマレーラエスペシアール	六三、六四、	
○スペリオール	五七、五八、	
○マンヂヨカ粉	五五、五六、	
○アルファファ	キロ 三五	三六
○小麥粉一級	二	三
○砂糖 以下六〇キロ入		
極上 七一、七二、		
上等 六九、七〇、		
○フエジョン	六〇キロ	
△新入ラチンニヨ		
スペリオール	四八、四九、	
エスペシヤル	五一、五二、	
○ポン	五九、六〇、	
ブランコ		
エスペシヤル	五九、六〇、	
スペリオール	五三、五四、	
ポン	四九、五一、	
レグラール ノミナル		
△コーレス	六〇キロ	
プ・グラード ノミナル		
ロシンニヨ ノミナル		
シュピーニヨ	六〇キロ	
△ミリヨ	六〇キロ	
フマレリンニヨ	五二、五四、	
アマレロ	一五五、一五六、	
アマレロン	一五五、	
△アロースアグロ		
ポン	五九、六〇、	
レグラール ノミナル		
△コーレス	六〇キロ	
プ・グラード ノミナル		
シュピーニヨ	六〇キロ	
△ミリヨ	六〇キロ	
フマレリンニヨ	五四、	
アマレロ	一五五、一五六、	
アマレロン	一五五、	
△アロースアグロ		
ポン	四八、四九、	
レグラール ノミナル		
△コーレス	六〇キロ	
プ・グラード ノミナル		
ロシンニヨ ノミナル		
シュピーニヨ	六〇キロ	
△ミリヨ	六〇キロ	
フマレリンニヨ	五四、	
アマレロ	一五五、一五六、	
アマレロン	一五五、	
△アロースアグロ		
○ポン	五九、六〇、	
ブランコ		
エスペシヤール	五九、六〇、	
スペリオール	五三、五四、	
ポン	四九、五一、	
レグラール ノミナル		
△カテテ		
エスペシヤール	四四、四五、	
スペリオール	四三、四四、	
ポン	三九、四〇、	
△メイオ	三四、三五、	
△キレーラ	三四、三五、	
○セボーラ リオグランデ	六〇キロ 四二、四三、	
○マモナ キロ	八四、八五、	
○バニヤ 南大河	二〇キロ 一九六	
（オザスコ相場）		
○豚	三四、五 三一二	
○ゴールド	二九、五	
○マーグロ		

（診察時間）午前九時より午後五時迄

求人

北大醫學士 今田

リンス市ビンテウン・デ・アブリール オスピタール街角

電話一四三 郵函二〇三

◎求

◉女中さん 二名

十五才より二十才迄 出來得レバ姉妹

◉家族者 二名

女中サン以外ノ方ニハ工場內ノ仕事アリ、邦人工場

御聞合ハ左記へ

聖市 國井商店

G. Kuniy

R. Imiá Simplicíana 28

外交員求む

市內に身許保証人のある能辯の士にして家族持ちの方を望む

委細面談の上

面會時間午前 自十時至十一時

姓名在社

謹告

鹿兒島縣人宛の手紙で住所不明のため受取人なく迷ひこんでゐる手紙は本事務所へ御廻送下さい

本事務所で本人の住所を調べ廻送致します

池田重二

Rua Fernão Dias 644 Lindeiros S. Paulo

各驛日本人會

邦人郵便物取扱者各位

謹告

拜啓 各位益々御清穆之段奉賀候 就而當療友會はかねて大方諸賢の御同情と會員互助の精神の結合とに因り日々隆盛の歩みを續け居り候處入療者の增加に伴ひ資困患者等も有之無料マンソンの必要に迫られ居り候次第遂的には脚本療養に最も適切な邦人サナトリヨ建設も當會に於て目論見中の所此の際正に依頼し盡く寄附金募集致・度く若し御地方訪問の節は何卒御後援の程一偏に御願申上候 匆々敬具

昭和拾五年五月一日

中央綠カンポス・ド・ジョルドン

各位 療友會

感謝の意を表す

小西謹治郎先生の御轉任に際し

講四ケ年に亘りて當植民地の爲に誠心誠意を以て献身的に御奮闘下されし小西謹治郎先生が 今回當植民地を去りてモロンビー小學校に御轉任なされるに際し、當植民地として玆に先生に對する限りなき感謝の意を表する次第であります

先生は講四ケ年間全く薄給に甘んじ圓滿なる教育者としての彌き責任感と敎へ子に對する親も及ばざる愛とを以て悪切丁寧に敎鞭をお取り下されしのみならず 植民者一同に對しても何處迄も行き屆いた御注意を以て萬般の御指導に當り就中青年會婦人會に對しては極めて適切なる御指導を賜り爲に風敎大いに革まり 植民者の先生に對すること誠に絶大の敬愛を以て終始し 先生の去るに臨んでは痛く之を惜しみ、先生と行を共にせんと迄希求するの情禁じ難きもの之有るは如何に先生の誠意が植民者一同を感激せしめしかを伺ひ得ると信ずる次第であります

されど先生の今回當地を去るは先生の向上敎學の爲め志貫徹の念願より出發なされし事を思ふ時強ひて之を止むるは機微に非ず、玆に今回先生を新に迎ふるモロンビー小學校の父兄兒童の幸福を祝すると共に我等の敬愛と愛情を公表して我等の言ひ盡し得ざる感謝の一端に更へ度く存ずる次第であります

五月二十三日

ジュケリー、サンタ・イネス日本人會

可愛らしい笑顔

子供が下痢に罹つた時可愛らしい笑顏が著しく悲しくなります。此場合バイエル製品の有名な鉾劑エルドフオルミオを信賴して下さい。

子供の下痢の最初の徵候にエルドフオルミを呷へ

BAYER

formio

は小供に 事です。

KANAKAO S/A

新入荷 リオ・グランデ・マタドル肥料

英國製硫酸銅

肥料、農具 品、ニカワ 樂

カナカオ化學工業株式會社

サンパウロ市テオドロ・サンバイオ街二七七六番

郵函 二一八六

電話 八・二五八七

支店 イタプラ・デ・ミランダ街一七

電話 二・六六三七

聖市旅館聯合組合

商船切符出國手續取扱所

ホテル東洋 西野 一

コンデ・ド・ピニヤール街一七六

電話 二一四一〇六

浪花旅館 伊藤桑三郎

ダバサンゲーラ街六四

電話 二一〇五〇九

御旅館中國館 小田 薫

コンセレイロ・フルタード六四

郵函 二四一一

電話 二一五〇九九

藤田旅館 藤田辰雄

ダバサンゲーラ街六一

電話 二一五七九三

九州旅館 水本順太

コンセレイロ・フルタード街八〇

電話 二一七〇二

富士屋旅館 小林庄平

バロン・ド・ゾブラット街一七

メルカード前

電話 二一七四〇一

熊本旅館 園田吉之助

コンデ・ド・ピニヤール街八九

電話 二一七五八

旭旅館 檜垣肇

コンデ・ド・ピニヤール街七〇

電話 二一一七八二

◎日本向 ブエノスアイレス丸、サントス 出帆 六月六日

◎聖崎手續迅速に取扱ひ致します

◎御歸國者を一緒に多く共連に取扱つて居る事と鐵道的であると云ふ電話を持つ聯合組合旅館の何れかをお選び下さい

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno. . . . 60$000
" Semestre . 30$000
Numero de dia . . . 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII | S. Paulo, — QUINTA-FEIRA 23 DE MAIO DE 1940 | DIARIO No. 2187

"Se me dissessem que só um milagre pode salvar a França, eu responderia que acredito nesse milagre"

PARIS, 21 (Domei) — URGENTE — A certa altura das suas declarações feitas hoje no Senado, o primeiro ministro francez disse textualmente:

«A mãe-patria está em perigo. O chefe do governo tem o dever de dizer a verdade ao Senado e ao Paiz».

O DISCURSO DE REYNAUD

PARIS, 21 (Domei) — Após haver declarado que existe agora uma communhão total nos pontos de vista entre elle proprio e os marechaes Petain e o general Weygand, o sr. Paul Reynaud disse no seu discurso de hoje no Senado:

«Não será tolerado nenhum desfallecimento, nenhuma indecisão. Agiremos rapida e merecidamente contra os traidores e os covardes. Quero dizer-vos a verdade: Temos confiança em nosso grande chefe temos confiança em nossos soldados; nossos aviadores se cobrem de glorias. Rendo minha homenagem neste momento á Força Aerea Britannica (os Senadores põem-se automaticamente de pé e applaudem calorosa e ongamente.

«Esses dois grandes povos, prosegue o orador, esses dois grandes Imperios não podem ser batido nem podem perecer.

Se me dissessem: é preciso um milagre para salvar a França, responderia: Creio nesse milagre porque creio na França» — (applausos prolongados).

Em certa altura, o sr. Paul Reynaud, cheio de gravidade e confiança disse:

«Quero repetir: A Patria está em perigo e quero dizer toda a verdade ao Senado e ao Paiz. Tendo violado e invadido o territorio da Belgica, da Hollanda e do Luxemburgo o inimigo desfechou um formidavel ataque contra a pontam charneira do exercito francez, no sector de Sedan. As divisões francezas que defendiam o Mosa eram pouco numerosas. Uma divisão das nossas melhores tropas que havia corrido em soccorro da Belgica, deixaram um claro. A infiltração pelo Mosa foi facil para as tropas da vanguarda do inimigo. Em seguida como consequencia de faltas jamais acreditaveis que serão punidas, o inimigo conseguiu utilizar as pontes sobre o rio que não tinham sido destruidas».

Em seguida, o sr. Paul Reynaud recorda a desorganização inesperada verificada com a fuga do Korep que combatida na Belgica. Depois citou o nome de Pétain, provocando repetidos vivas dos senadores dados ao nome do vencedor de Verdum.

Cessados os applausos, o sr. Reynaud prosegue:

«Por essa brécha passaram as divisões motorizadas inimigas.

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

VINTE E CINCO ANNOS DEPOIS

Parece que certas nações, somente na hora decisiva, quando se esboça a luta de vida ou de morte, demonstram o verdadeiro valor de seus soldados, e o vigor de seu patriotismo. Assim occorreu com a France em 1914, como acontecera antes em outras guerra sem que a liberdade do povo francez estéve em jogo. Que se poderá dizer, porém, do embate que se travará no momento, a noroeste da fronteira franceza?

Desde o inicio da guerra até 17 do corrente o general Gamelin, commandante-chefe das forças terrestres franco-britannicas, não pronunciou palavras que calassem tão profundamente no espirito de seus soldados como as enunciadas na sua ordem do dia de ante-hontem. «Sobre a sorte da patria e a dos nossos alliados, bem como os destinos do mundo dependem da batalha em que nos empenhamos». E accrescentou: «Como sempre, nas horas graves da nossa historia, a palavra de ordem é: vencer ou morrer». Confiante na victoria, o general Gamelin não esconde, em retirando a necessidade de cada um permanecer em seu posto para não ceder a minima parcella do territorio francez.

Taes palavras recordam a si que vinte e cinco annos atrás o general soffreu teve de enfrentar. Os allemães, tentando uma investida larga e vergadura, se encontravam no Marne com as tropas aliadas, malloqrando das forças germanicas aquella occasião deve-se a muitos factores. Entretanto o valor e o heroismo dos soldados francezes foi attentando para esse heroismo que o general Gamelin baixou a ordem do dia.

Se de facto os belligerantes caminham para o termino da luta, que difficuldades ou obstaculos estariam encontrando os dirigentes do Terceiro Reich? Antes de tudo convem assignalar que uma offensiva como a allemã não se faz com milhares de soldados, nem centenas de aviões ou tanques. A Allemanha deve estar despendendo sommas fabulosas, milhões de vidas, milhares de aviões e de carros de assalto. Se a de essa da Hollanda custou ao exercito hollandez cerca de cem mil homens, o ataque allemão deve ter sacrificado talvez o dobro ou, quem sabe, muito mais. Por conseguinte, na investida contra a França que se defende com milhões de soldados, o Reich deve estar empregando a quasi totalidade de seus effectivos. A proposito, é opportuno recordar a noticia procedente de Belgrado, segundo a qual, oito divisões allemães, perfeitamente apparelhadas, ou sejam 120 mil homens, se retiraram da fronteira yugoslava para a frente occidental. E as tropas que se encontravam na Polonia, na Dinamarca, Noruega e mesmo na Hollanda não estariam a caminho da maior batalha de todos os tempos?

Ao que dizem os entendidos, as forças motorisadas teutas compõem-se de cerca de 5 mil tanques. Somente na offensiva á França, acredita-se que se empregou mais da metade. Quanto á aviação, ministerio da Aeronautica da Gran-Bretanha annuncia que os allemães perderam mil apparelhos, em seis dias. Como se vê, a guerra assumiu um caracter tão destruidor que não se póde acreditar dure muito tempo. O facto occorrido na região do Mosa é edificante, após violenta luta entre francezes e germanicos, viam-se no campo enormes montes de ferro velho, restos de centenas decarros de assalto, que se destruirm mutuamente.

Parece, pois que o objectivo de sr. Hitler é dar combate aos alliados de uma vez por todas. Porque melhor do que o chefe do Reich ninguem poderá saber o que significa para a Allemanha uma luta prolongada em diversas frentes. A guerra de 1914, da qual o chanceller allemão participou, é de recente memoria. Quatro annos em guerra, inimigos por toda parte, milhares de crianças sem paes, viuvas desamparadas, e acima de tudo, a fome eis as visões que não cessam certamente de advertir os responsaveis pelo povo allemão. Accresce que, daqui por diante, as forças motorisadas teutas, indispensaveis na tactica empregada pelos generaes allemães, começarão a encontrar sérias difficuldades. Em primeiro logar, o abastecimento vae tornar-se cada vez mais difficil, não somente porque os depositos de combustivel ficam na retaguarda, como ainda ha possibilidades de destruição das pontes sobre o Mosa, pelos bombardeios da aviação franco-britannica. Em segundo logar, os fornecimentos da Rumania são demais escassos para permittir consumo prolongado. E, acima de tudo ha duvidas de que os allemães possuam as necessarias reservas de carros blindados. A aviação, por sua vez, depende tambem do combustivel rumeno. E' verdade que a U. R. S. S. tem vendido petroleo á Allemanha, mas em pequenas proporções. Por conseguinte, analysando-se todos esses factores não se póde deixar de encarar a batalha que se desfere actualmente na frente occidental como supremo esforço do «Reich» para vencer os alliados. Vencerá? Os factos breve o dirão.

Comtudo, são significativos as palavras do sr. Duff Cooper, hontem pronunciadas, emquanto os telegrammas annunciavam a gravidade da situação: «Podemos perder a actual batalha, sem, todavia, perdermos a guerra ao passo que se os allemães a perderem, terão perdido tambem a guerra».

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

珈琲と棉花

經濟欄

珈琲

戰爭擴大と深刻化と共に珈琲界の苦悩も愈々その深刻さを呈して來てゐる、これが對策は政府としても眞劍な態度で臨み、政府責任者間では口を喊して語らないが、民間では樣々無責任な對策が飛び出してゐる、その二、三を拾ひ上げると次の通り

歐州ファゼンデイロ間で專ら行はれてゐる希望條件は、輸入制限當初は如何なる理があつても御寵被りたいの一本槍である、政府が講ずる位なら各自の倉庫に退藏するとまで決心してゐる向も少くない譯だ

戰爭擴大と深刻化と共に珈琲界の苦悩も愈々その深刻さを呈して來てゐる、これが對策は政府としても眞劍な態度で臨み、政府責任者間では口を喊して語らないが、民間では樣々無責任な對策が飛び出してゐる、その二、三を拾ひ上げると次の通り

歐州ファゼンデイロ間で專ら行はれてゐる希望條件は、輸入制限當初は如何なる理があつても御寵被りたいの一本槍である、政府が講ずる位なら各自の倉庫に退藏するとまで決心してゐる向も少くない譯だ

である、これ等の一群の輸入業者は、中獨取引の氣運に富んだ者は、一時凌ぎから最も現實性ある一對策ではあるが、一時凌ぎから最も現實性ある一對策ではあるが、一時凌ぎから最も現實性ある一對策ではあるが